

# 図書だより

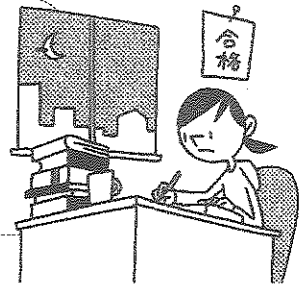
都留一中図書室 2018.1

## 2018年 今年もよろしくお祈いします

きつとあつという間に過ぎていくだろう3学期。1日1日を大切に過ごしたいですね。寒い日が続きますが、これからが冬本番！体調管理は万全ですか？風邪やインフルエンザに負けないよう、規則正しい生活を心がけて、この3学期を元気に乗り切りましょう！

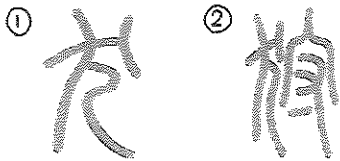
### がんばれ受験生！

冬休み中の図書室では、毎日誰かしら勉強する姿がありました。「図書室だと集中できるから」と、開館時間から来て集中して勉強していました。3年生の“本気モード”を見たような気がします。受験勉強のラストスパートがんばってください！図書室からも応援しています！！



## 今年の干支はイヌ

犬は「けもの」の代表



「犬」という字は紀元前3世紀には、①のような形。②は当時の「狩」という字。左半分の「犴」に当たる部分をよく見ると、①の犬と同じ形をしているよね。ここからわかるように、「犴」は「犬」が変化したもの。ということは、「猫」や「猿」、「狐」や「狼」や「狸」もみんな漢字の上では「犬」の仲間なんだ。つまり漢字の世界では、「犬」はこういった動物たちの代表として扱われているということ。ここにも、犬と人間の付き合いの深さがあらわれているんだね。

朝日中高生新聞より

### 戌と犬は無関係

干支のイヌは漢字では「戌」と書く。でもこの漢字、もともとはイヌとは何の関係もないって知ってた？実は、12年をひとまとまりにして「子(し)、丑(うしゅ)、寅(いん)、卯(ぼう)、・・・」と呼ぶ習慣と、ネズミ、ウシ、トラ、ウサギといった動物を当てはめる習慣とは起源がまったく異なるんだ。「子、丑、寅、卯・・・」を「ねずみ、うし、とら、うさぎ・・・」と読むのは、その二つが一緒になって使われるようになった結果。だから「うちでは戌を飼っています」なんて使い方はしないようにね！

朝日中高生新聞

## 犬ってどう動物なの？

犬の習性や歴史について、東京大学附属動物園センター主任助教の荒巻明彦さん（獣医動物行動学）に聞きました。（小宮友聖）



目……視界は人間より広く、動くものによく反応します。暗い所でもよく見えます。  
鼻……人間の1億倍の嗅覚があるとされています。嗅覚を生かして、病犬検知犬や災害救助犬として働く犬もいます。  
口……人間のように汗をかくのではなく、口を開けハアハアと息を吐いて、体温を調節します。



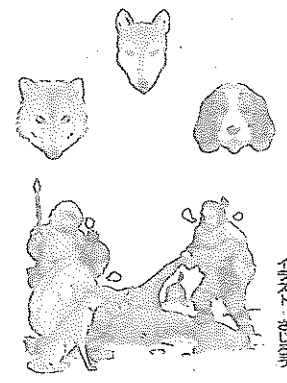
犬の気持ちは、ジェスチャーを見るとわかります。

- 「不安だな」……耳を伏せ、尾を下げ、体を縮こまらせる＝イラスト①
- 「緊張するな」……あくびをする＝向②
- 好きな人へのあいさつ……前脚をあげて人に寄りかかると＝向③
- 好奇心……首をかしげる＝向④



犬と人が一緒に生きてきた歴史は長く、世界各地の古い遺跡から犬の骨などが発掘されています。

・犬の祖先  
オオカミと犬は、共通の祖先から分かれ、犬という種族ができたという説があります。  
・少なくとも1万5000年前～  
人と犬と一緒に暮らし始めました。昔から一緒に狩りをしてきたようです。  
・数百年前～現在  
後継により選んだ犬をつくるためや、ペットとしてよりかわいらしく、珍しい見た目をつくるために品種改良が進みました。現在300種以上の犬種が登録されています。



イラスト：荒巻明彦